



# 特定看護師活動の実際

洛和会音羽病院 伊藤 浩武

# 本日のお話（呼吸器領域）

- ◆前期研修の活動と内容
- ◆手順書作成（呼吸器設定の変更）
- ◆今後の活動



# 本日のお話（呼吸器領域）

- ◆前期研修の活動と内容
- ◆手順書作成（呼吸器設定の変更）
- ◆今後の活動



# 研修日の1日の流れ・内容

研修内容
呼吸器カンファレンスに参加
呼吸器科の患者ラウンド
呼吸器科医師の外来診察の見学
気管支鏡検査の見学
呼吸器科医師と共に患者ラウンド
振り返り・勉強会

# カンファレンスへの参加

- 医師や薬剤師、理学療法士、MSW、看護師などが参加し、呼吸器疾患患者の治療方針や今後の方向性について話し合います。
- 意見や提案をし、チーム医療のキーパーソンとしての役割を担います。
- 「医療」の視点だけでなく、「生活」の視点をもち、基本的ニーズを考えます。



# ラウンドへの参加

- 実際にベッドサイドに行き、問診や視診、聴診などを医師と一緒にいきます。
- 看護の視点（見る）だけでなく、医師の視点（診る）を学びます。
- 医師からその場で直接レクチャーを受けられるので、知識・技術の向上につながります。



# 呼吸器科医師の外来診察の見学

- 患者への診察場面を通し、問診・視診・聴診などから臨床推論の実際を学びます。
- また、患者への関わり方・接し方を学びます。
- 「身体状態・所見の判断」  
「どのような看護を提供できるのか」  
などを考えます。



# 呼吸器科医師と共にラウンド

- 担当する呼吸器科医師の患者のベッドサイドに行き、診察を通して人工呼吸器の設定の目的、今後の方向性などについて話を聞きます。
- 人工呼吸器の設定の意義を自分なりにアセスメントし、医師の助言をもらいます。
- 実測値や聴診などを通して、医師と共に体位の調整や設定の変更有無などについて話し合います。
- 必要時、病棟看護師に助言をします。





# 振り返り・勉強会

- 一日の振り返りをし、医師から助言をもらいます。
- 人工呼吸器分野に必要な知識を習得するために、医師から勉強会をしていただきます。
  - 入院患者の病態理解
  - 病態生理の基礎学習      など



# 本日のお話（呼吸器領域）

- ◆ 前期研修の活動と内容
- ◆ 手順書作成（呼吸器設定の変更）
- ◆ 今後の活動



# 特定行為を行うためには . . .



# 非侵襲的陽圧換気の設定変更

SpO<sub>2</sub> (経皮的動脈血酸素飽和度) の低下

## 原因の究明とアセスメント

- プローブ・機器の問題
- 患者の問題
  - 意識レベル
  - 呼吸音
  - 分泌物貯留
  - 換気状態 (1回換気量、分時換気量、気道内圧、リーク量)
  - 循環動態の変化 (心拍数、不整脈、虚血性心電図変化など)
  - 呼吸仕事量
  - 胸郭の動き
  - 加湿の有無
  - その他: 特記事項を記載
- 鎮静・鎮痛レベル、せん妄評価
- バイタルサインの変動
- 頸静脈怒張の有無
- 合併症の有無: 気胸、皮下気腫、無気肺など
- 消化器症状 (腹部膨満、呑気、嘔気、嘔吐)
- 直近の採血結果
- フィッティング
- 人工呼吸器との同調性
- 末梢冷感・チアノーゼ

## 原因の除去

- 機器の交換
- 吸引
- その他: 特記事項を記載
- 体位ドレナージ
- 体位の調整
- マスクの調整
- 
- 

SpO<sub>2</sub> の安定が図れない

画像  
血ガスの依頼

FiO<sub>2</sub> の調整

一回換気量 (TV) の調整

PS の調整

FiO<sub>2</sub> : 0.5~1.0% ずつ  
アップ

TV : IBW×10ml を上限

PS を 1 mmHg ずつアップ  
(3 mmHg まで)

SpO<sub>2</sub> の回復・安定、バイタルサインの安定  
気道内圧上限のアラームが鳴らないか確認する

記録の記載  
主治医に報告 (当院規定に従う)  
オーダー調整

# 本日のお話（呼吸器領域）

- ◆ 前期研修の活動と内容
- ◆ 手順書作成（呼吸器設定の変更）
- ◆ 今後の活動



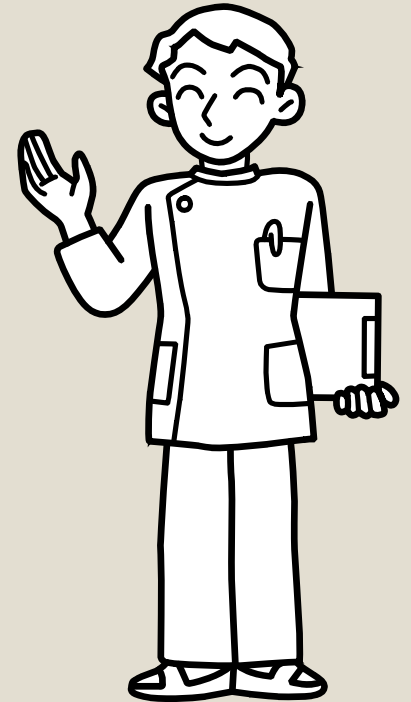
# 前期研修での振り返り

- 特定行為実践による知識・技術の難しさ
- 看護師の視点を置いて
- 医師との連携
- チーム医療のキーパーソンとしての役割
- 医療安全の確保
- 病棟看護師との関わり



# 今後の活動

- 継続教育
- 看護のマインドを持ち続け、特定行為実践を行う
- 多職種と協働
- 医療安全を視野に入れた特定行為の実践
- 後輩の育成



ご清聴

ありがとうございました